



フォレスターうじ 会報

第261号

令和2年11月1日発行

森林ボランティア

フォレスターうじ

ホームページ : <http://foresuta-uji.o.oo7.jp>

十月定例活動

京都大作戦の森の整備と防鹿柵ネットの設置

活動日 十月十八日(日)曇のち晴

活動時間 九時三十分～十四時三十分

活動場所 天ヶ瀬森林公園

参加者 会員 十七名

京都府立大学 森なかま 二名

一日体験者 一名

三菱UFJ環境財団 二名

三菱UFJ環境財団が本会に助成金を交付すべきかどうかを判断するため、島事務局長、依田氏が視察に来られた。

それはさておき、今月も森なかまの白井さん、峰重さんの二人が参加してくれた。若い同志が加わると我々も若返り本当にうれしい。そして一日体験者田中さんもボランティアに興味があると云われて参加してくれた。新しい仲間が増えることは楽しみである。

本日もいつものように、あいさつ、連絡事項、点呼、安全十ヶ条唱和、本日の活動内容、準備体操と行ったが、間、島氏のあいさつ、他団体の森林作業事故の報告があった。我々も注意。

午前中は、先月の続きで京都大作戦の森の整備をみんなで行った。モミジの幼木周辺の下草刈り、ひこばえの除去を中心に作業し、樹高5mほどのソヨゴを一本除伐した。私は島氏、依田氏を森林公園で我々が過去に整備した場所を説明しながら一時間ほど歩いて案内した。両氏とも口をそろえて本会の活動状況をおほめいただいた。特に参加者の多いこと、朝礼で連絡事項の徹底など、びつくりされていた。

午後からは、A班は大屋根休憩所の横にどんぐりの苗木の仮植栽場所づくりとその防鹿柵ネット

の試験的設置をした。B班は午前の作業の続きで除伐したソヨゴとその周辺の雑木の積み作業をした。これで京都大作戦の森内の下草刈りはほぼ完了した。森なかまのふたりには感謝、また機会があったら参加してほしいものである。一日体験の田中さんも楽しかったと言ってくれた。
(記 木曾 宗統)

エッセイ

感想(京都大作戦の森づくりに参加して)

京都府立大学 森林ボランティア森なかま

二回生 峰重 乃々佳

白井 春華

十月十八日、フォレスターうじさんの活動に参加させていただきました。

午前は植樹されたモミジ周辺の下草刈りをしました。バラ科の植物が群生しているところではトゲに苦戦しました。皆さんが、作業前作業後に誰がいくつ道具を持っているのかを確認されたり、道をつくるために刈った草を何箇所かに集めておられたり、丁寧に効率の良い作業を学ばせていただきました。

午後は伐倒木などの積み(さんづみ)をしました。この時もまた、伐倒では立ち位置に気を付けることを教えていただきました。また、作業中に、サルトリーブラの実がなっているのをご覧になって、その葉はお餅を包むことに使われることを教えてくださったり、木の香りがよかったことから、それが櫛で、さらに近くに実がなっていることまで発見されたり、いろいろな植物のことをご存知で、素敵だと思いました。

私たちは今日初めて、フォレスターうじの方々とお会いしましたが、実は森なかまとは十数年もの長い間わりがあることをお聞きし、大切なご縁であることを知りました。今回、フォレスターうじさんの森林ボランティアとして「こういう森にしたい」と自分たちで行政と連携しながら活動をされる様子を間近で見ました。森を保全することに対して、試行錯誤されながら地道に向き合っておられて、森と人との大切な関わり方だと心から感じました。一日、ありがとうございました。



10/18 どんぐり苗木用防鹿柵ネットの試験的設置



10/18 除伐した樹高約5mソヨゴの玉切りに挑戦



10/18 みんなで一列に並んで下草刈り

十月臨時活動

「アクトパル秋のひろば」にて

活動日 十月十一日(土) 九時～十三時 晴
 活動場所 アクトパル宇治 集いの広場
 参加者 会員 三名 e c o t t 宇治 一名
 来場者 親子 三十二組九十六名

台風十四号一過の爽やかな秋の一日、成井(e c o t t 宇治)・小林・木曾・新宮四名で参加した。午前八時二十分出発、九時頃現地到着。直ぐに資材搬入、地球温暖化防止の啓発ビデオ放映、ノボリ・パンフ・ドングリ鉢等の準備、山土と腐葉土をブレンドし、用意した三十鉢の半数に充填、十時のスタートを待つ。

前日までの天候と昨今のコロナ感染問題も含め、アクトパル宇治でのドングリプロジェクトは初めてだったので果たして何組来られるのか不安であった。芋掘りやスタンブラリーなどがお目当てで、此方のブースには流れが少ないので、親子連れを見れば呼び込みには奔走した。するとアクトパル宇治に来られるのだから自然には関心が高く、「ドングリ」と言うと親も子も反応は早かった。鉢の減り具合を見ながら土のブレンドと充填を行う。お蔭様で十一時頃には終了。その後の来場者にはドングリと土・パンフを渡した。

親子三十二組九十六名の内、宇治市十組、京都市十組、大阪府八組、他四組。それにリーダーの方が多く、成長した苗をアクトパル宇治で我々と一緒に植栽して頂けるのではないかと心強く思われた。

作品の販売も可能ということで、今後参加する時には検討したい。テレビでの地球温暖化防止の啓発ビデオ放映は、年少者には難しい部分があったが、アニメでの説明は足を止めて聞き入っていた。早々と終了したので予定を早め、午後一時に撤収した。

(記 新宮 邦春)

十月臨時活動

太陽が丘「緑化のつどい」

活動日 十月十七日(土) 九時～十二時 雨
 活動場所 太陽が丘公園センター東側
 参加者 会員 五名 太陽が丘職員 五名
 来場者 大人 二名 子供 二名

十月十日の開催予定であったが、台風十四号による雨で本日となった。しかも本日も雨であったが、ドングリプロジェクトを開催した。

公園センター東側庇内に長机を三台設置した。ドングリ(アベマキ・クヌギ・コナラ・トチ・椿)を各皿にのせた。育て方のチラシや会報も並べた。太陽が丘職員の用意したイロハモミジのポット苗も並べた。

十時早々に女性が来場したが、結果、大人一名子供二名がドングリを播いたポットを持ち帰られた。来場者が少なかつたので、ポット七鉢にドングリ類を播き、太陽が丘職員に配布を依頼した。体育館ではバスケットボール試合、陸上競技場では高校生の競技会が行われていたが、興味を示してもらえず残念であった。

関係者、会員の方々お疲れ様でした。後日、木曾事務局長が太陽が丘職員から「来年もやりましょう。」と言葉をもらった。来年こそ天気の良い日に開催できるように約した。

(記 小林 清三郎)



10/11 アクトパル宇治にて ドングリをポットに播く親子連れ
 写真提供 新宮邦春

今後の活動・行事の案内

令和二年十二月以降の予定です。当月の定例活動の詳細は、当月の「活動案内」でお知らせします。

十二月定例活動
 十二月二十日(日)
 ・天ヶ瀬森林公園の整備と門松制作

フォレスターうじからのお報せ

森林ボランティア フォレスターうじは、新しい仲間を募集しています。まずは一日体験から参加して下さい。

年会費 二千元 入会金 千円
 活動日 毎月第三日曜日
 活動場所 天ヶ瀬森林公園

森林ボランティア「フォレスターうじ」事務局

宇治市折居台二丁目一―五 木曾 宗統 方
 TEL 〇九〇―九二七〇―〇七六三

編集後記

毎月毎月、同じことを言いますが、十月の活動も楽しかったです。たくさんの人たちに森林ボランティアの面白さ、楽しさ、爽快感を心から伝えていきたいです。

市民の皆さん、感染防止対策を心がけて是非とも野外活動に出かけてください。森林ボランティアは心身ともに絶好の活動だと思います。

皆様の投稿を心よりお待ちしております。

(会報担当 木曾 宗統)
 (写真担当 林 幸広)